



たのしみ

楽

富岡 勝則

皆さんこんにちは。

朝霞の夏の風物詩、朝霞市民まつり「彩夏祭」を今年も盛大に開催でき、大変盛況のうちに終了することができました。彩夏祭のために長い間準備をしていただいた皆さん、また、華麗な演舞を披露していただいた踊り子の皆さん、本当にお疲れさまでした。皆さんのお力で第30回にふさわしいすばらしいお祭りとなりました。心から感謝申し上げます。今年の彩夏祭は、市民まつりに鳴子踊りを取り入れてから20回目となる節目の年で、鳴子踊りの参加チームも初回の25チーム、約2,000人から93チーム、6,000人以上の方に参加していただくまでになりました。私は市の職員の時に、市民まつりに鳴子踊りを取り入れるために奔走していたことを思い出し、大きくなった鳴子踊りを見て感慨もひとしおでした。これからも市民の皆さんに誇りと愛着を持っていただき、

40回、50回とますます発展していけるよう、できる限り支援していきたいとあらためて思いました。

さて、話は変わりますが、子ども達の楽しかった夏休みも終わり、二学期に入りました。私も子どものころは夏休みがもっと続かないかなあという思いと、久しぶりに友達に会える嬉しさを心に抱きながら登校したことを思い出します。夏休み期間中は、お盆など長期休暇をとりやすい時期でもあるため、ニュースなどでも海外旅行に出かける方が多く見られました。海外旅行にはパスポートが必要になりますが、市では10月1日から、朝霞駅前出張所に新規申請や切替申請ができるパスポートコーナーを開設します。これまでは埼玉県のパスポートセンターに行く必要がありましたが、朝霞市に住民登録のある方は、朝霞駅前出張所で手続きしていただくようになります。また、朝霞市に本籍がある方は、手続きに必要な戸籍抄本または謄本も同じ場所で取得するなど大変便利になりますので、ぜひ、ご利用ください。申請の方法や取扱時間など、詳しいことは朝霞駅前出張所パスポートコーナー ☎452-6033までお問い合わせください。私も市長に就任してからは、まとまったお休みがなかなかありませんが、お休みが取れたら、ゆっくりと海外旅行を楽しみたいなあと思っています。では、また。

朝霞市は 男世平等を進めています

～ 一歩踏み出す勇気④ ～

このコーナーでは、男女平等を進めるために毎年度テーマを決めて連載しています。今年度のテーマは「一歩踏み出す勇気」。女性も男性も、新しいことを始めるときには、誰でも最初の一步を踏み出す勇気が必要です。そんな一歩を踏み出した人たちの話を男女平等推進事業企画・運営協力員が紹介していきます。

今回は、定年退職後に地域デビューを始めた方のお話です。

長年勤めてきた会社を今年定年退職されたばかりなのに、積極的にバリバリと地域で活動されている60代の男性がいます。すんなりと地域に溶け込んでいる様子に興味をもち、その秘けつを伺ってみました。

「実は、定年に備えて2～3年前から地域デビューの準備をしてきました。」とのこと。

定年退職を意識し始めた頃、今まで仕事ばかりをして

いて、自分が長年住んでいる朝霞のことを実はよく知らなかったことや、地域には気軽に声をかけてくれる仲間がいないうことに気づき、不安になったそうです。そこで、地域の中で自分の居場所をつくることや、自分の生きがい（楽しみ）のために、思い切って、一歩を踏み出すことにしました。

まずは、「広報あさか」で自分が参加できそうな活動の場を見つけ参加してみました。その後も少しずつ活動を広げていき、今では地域にたくさんの仲間ができたそうです。

仕事のため、時間がとれない男性の多くは、女性に比べて地域でのつながりが少ない傾向にあります。人生の後半をよりよく過ごすために、ボランティアや市民活動など、今とは違う一歩を踏み出してみませんか。

（次回のテーマは「介護を始めた女性」です。）

ひとの推移

人口	13万2,056人（－15人）	世帯数	5万9,388世帯
男	6万7,160人（＋52人）		（－75世帯）
女	6万4,896人（－67人）	平成25年8月1日現在	（ ）内は前月比

*このコラムは、「朝霞市男女平等推進事業企画・運営協力員」との協働により掲載しています。

問／それいゆぱらど（女性センター）
☎463-2697